法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-02-20

【学部企画報告】 - ベルリンの壁崩壊から25 年 - 『東ドイツはどう変わったか?』

山根, 恵子

2015-04

(出版者 / Publisher)
法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)
異文化 / 異文化
(巻 / Volume)
16
(開始ページ / Start Page)
278
(終了ページ / End Page)
280
(発行年 / Year)

[学部企画報告]

一ベルリンの壁崩壊から25年一 『東ドイツはどう変わったか?』

山根 恵子

1989年11月9日、第2次大戦後26年間にわたりベルリン市を東西2つに分断していた「ベルリンの壁」が崩壊して、今年は25年目にあたる。

この歴史的瞬間をリアルタイムで経験した旧東ドイツ出身の Frank Riesner (フランク・リースナー) 氏を講師として招き、当時の東ベルリン、東西ドイツの様子等を写真とともに紹介してもらう講演とトークの会を、下記の通り開催した。

また、本学人間環境学部の辻英史准教授により、戦後ドイツが東西に分断され、1961年8月に突如ベルリンに壁が建設されることになった経緯や、旧東ドイツの政治的状況等についてレクチャーしていただき、後半には Riesner 氏とのトークを行なった。

参加者数は約50名で余り多くなかったが、中にはドイツ史の専門家や高校教員も来られていて、質問の内容も大変興味深く、非常に有意義なプログラムとなった。



●日時:2014年10月29日(水)18:30~20:50

●場所:市ヶ谷キャンパスBT26階「スカイホール」

●プログラム:講演とトーク(日独逐語通訳付き)

●ゲスト:①講演 Frank Riesner (作家・ドイツ語講師)

②コメンテーター 辻英史 (人間環境学部准教授)

●主催:法政大学国際文化学部、法政大学大学院国際映像文化研究所

●参加費:無料

Frank Riesner (フランク・リースナー)

1965 年、東ドイツのゲンティーン (ザクセン・アンハルト州) 生まれ。 1990 年、マグデブルク工科大学卒業。

千葉大学等のドイツ語講師。2009~10年、NHK「テレビでドイツ語」

で東ドイツの紹介者としてレギュラー出演。主な著書に『会話で覚えるドイツ語 777』、『ドイツ語が分かるリスニング』、『私は東ドイツに生まれた一壁の向こうの日常生活』がある。現在は、東ドイツの伝統、生活、娯楽等についての講演も行う。

辻 英史(つじ ひでたか)

1971 年生まれ。

1997-2000 年、DAAD 給費留学生としてジーゲン、ミュンヘンに留学。

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士 (学術)。 現在、法政大学人間環境学部准教授、専攻は近現代ドイツ史。